

## カマラード総目次

### 創刊号目次(1984年1月)

創刊にあたって・なぜ、いまカマラードを 創刊に寄せて・わたしにとっての「カマラード」 実践報告 作文を通してみた子どもの可能性のすばらしさ	春日辰夫 宮崎典男 太田貞子 宮崎典男 春日辰夫
メント・可能性をひらくもの 田代洋助との400日	春日辰夫
コメント・おとしめられた狂行を、共有として再生する道はかなおよし 六年生の社会科を創る	小林真一
コメント・小林実践から学ぶもの 卒業制作 実沢を支えた人々	佐藤弘友 遠藤徳生
コメント・教師の願いが強烈に すもうの授業	坂本小九郎 三塚 茂
コメント・遊び文化にすもうの復活を 星をみつけ星から学ぶ	中森孜郎 岩渕成記
コメント・学ぶ喜びをもっとひろげよう 提言 子どもが育つ学校をつくるために	中村敏弘 芳賀直義
わたしの本棚・千葉保夫/栗田政利/秋田洋一 仲間の本 久保健/佐藤弘友 サークルあんない 宮城民教連規約(案)	芳賀直義 久保健/佐藤弘友 あんない 宮城民教連規約(案)
表紙	岩佐慶治・カット 志野俊寿

### 第2号目次(1985年1月)

巻頭言 教師の仕事	菅野富士雄
実践報告 「歯と健康」の教材づくりから	千葉保夫
コメント・医は知らしむべし、依らしむべからず	岩倉政城

### 教材づくりの視点一

千葉さんの「教材づくり」これまでとこれから	中村敏弘
教材づくりの視点2	

千葉保夫さんの実践・「歯と健康」を読んで	中森孜郎
ヒトのからだ	佐々木清
コメント・佐々木実践を読んで	鈴木清龍
絵の中の子どもたち	斎藤俊子
コメント・再び出発点へ	岩佐慶治
保健室からみた子どもたち	北村志津枝
コメント・保健室の事実から教育を問い直そう	数見隆生
始業式から一週間	高橋ひとみ
具体的イメージを持つたけ算	芳賀雅尋・阿部誠喜
コメント・指導での落とし穴	野沢 茂
座談会 あのころを語る	鈴木道太/佐々木正/宮崎典男/大村榮/菊地新 さくぶん・校長先生がけん玉をしたこと 五十嵐暁子
	サークルと私 春日辰夫
	宮城民教連・冬の学習会三〇年のあゆみ
わたしの本棚	金子哲也/千葉建夫/菅井 仁
	仲間の本 門真 隆 /小林真一
表紙	岩佐慶治・カット 志野俊寿

### 第3号目次(1985年10月)

口絵	ひっぱりっこ・ねぎ
巻頭言	いまなぜ民間教育運動か 佐藤弘友
実践報告	鉄棒運動「け上がり」の指導 若有 護
コメント・一人の落ちこぼれもつからない	加藤敬三
一年生の絵画指導「ひっぱりっこ」	小野寺浩子
コメント・教師と子どもたちの大格闘	村山盛一
保健室から見た子どもたち(2)	北村志津枝
コメント・感動の世界を演出	数見隆生

子どもの詩 体育の中に詩を 佐藤とも子／三浦京子  
宮城民教達のこれまでとこれから

宮城の民間教育運動を考える 春日辰夫

山は山なみ、人はサークル 中村敏弘

宮城民教連の今後の発展のために 中森孜郎

仲間の本 芳賀雅尋／小林真一

わたしの本棚 三塚茂／土井裕子／金子哲也

読者の声 水野徳三郎／岩倉政城／志野俊寿

林竹二先生を偲ぶ 林先生に学びつけて 春日辰夫

林竹二先生の思い出 菅原康子

人間のやさしさ、美しさ 岩佐慶治

あそこを語る(2) 鈴木道太／佐々木正／宮崎典男／大村榮／菊地新

表紙 岩佐慶治 ・ カット 志野俊寿

## 第4号目次(1986年1月)

口絵・ふうせんをふくらます友だち・自画像

巻頭言 感動 太田貞子

実践報告 わたしの学級(人間)づくり

ー国語から・・・そして国語へ 芳賀雅子

地域に根ざす社会科の授業をどのように実践するか 佐藤弘友

しらけをふきとばしてやる気と団結、愛と正義を! 佐藤由紀子

黒川地区の教育実践活動」 私が学んだいくつかのこと 海野達兄

黒川で、教育文化活動は 永沢義人

黒川の実践検討会の歴史 渡辺良一

黒川で学びつけて 八重樫ゆり子

実践報告へのコメント・おさきに拝見・お礼にひとこと 大村榮

林竹二講演映画 「教育の根式にあるもの」を観て

三塚啓子／菅原康子／小湊紀子／古屋茂樹／原恵美子

特別報告 美術教育とわたし 岩佐慶治

宿舍通信 船越だより 佐々木清

あそこを語る(3) 鈴木道太／佐々木正／宮崎典男／大村榮／菊地新  
子どもの詩 五十嵐順子／新沼由希子／相沢さちえ／鈴木香織

わたしの本棚 半田秀文／高橋香代／菅原義一

サークルとわたし 星光則／佐々木祐子／菅原義一

表紙・カット 岩佐慶治

## 第5号目次(1987年1月)

口絵 彫刻家・佐藤忠良の彫塑の授業 写真・千葉建夫

巻頭言 授業の録音記録を活かそう 中村敏弘

特別報告 教育の改革と再生は・・・ 中森孜郎

実践報告 授業、この底知れぬもの 皆川秀雄

音楽の授業を創る喜び 日食正昭

学年通信 「いとでんわ」に願いを

小林真一／高岩徳子／田浦きよ子／鈴木芳政

動詞の分類から完了形の世界へ 岡野定重紀

少年らしい魂の自由さをー教育実習日誌からー 樋口 正

作文 おとうさんのたんじょうび 浅井小百合

彫刻家・佐藤忠良の彫塑の授業 春日辰夫

私の本棚 高橋建／斎藤章夫／林和人

宿舍通信 船越だより(2) 佐々木清

子どもが見えるということ 千葉建夫

あそこを語る(4) 鈴木道太／佐々木正／宮崎典男／大村榮／菊地新

作文漢字テストのこと・お母さんに反省させていばったこと 鈴木輝彦

サークルあんない

仲間の本 寒風にスキップはずみ 菅井 仁

「かたばみ」と私 沼田正子

読者の声 カマラードとわたし 大森栄子

表紙 岩佐慶治・カット 志野俊寿

## 第6号目次(1987年8月)

口絵	二年生の紙版画	杉田 繁
巻頭言	「わしはまだ学ぶぞ」ーゴヤー	岩佐慶治
実践報告	読みとりに語り・文法を	
	ー花岡大学「冬のこい」の授業を中心にしてー	門真 隆
	版画による三つの共同制作ー主題表現と造形活動ー	杉田 繁
	コメント 「何故、版画なのか」	坂本小九郎
	片目失明そして「いじめ」の中で自立を始めたN君	阿部広力
	特別報告 私が教育に期待するもの	高 史明
	作文 よこ田先生 佐藤裕美子	
	仲間の本 表現にいとむ子ら	宮崎典男
	犬もあるけば(第一回) みやざきのりお	
	あのころを語る(5) 鈴木道太/佐々木正/宮崎典男/大村榮/菊地新	
	私の本棚 平山正之/守屋みさこ/芳賀浩	
	読者の声” 少年らしい魂の自由を失わず“に	中野典子
	サークル案内	サークル紹介
	表紙	岩佐慶治・カット 志野俊寿

## 第7号目次(1988年1月)

写真	白川小の子どもたち	林 和人
巻頭言	まずは、子どもといっしょに開かれた状況を	芳賀直義
実践報告	子どもが集中し、追求し	
	、自らを高めようとする[授業]と[表現]の創造	遠藤惟也
	花粉の働き(小六)	永沢義人
	森は友だち 岩山は兄弟 生きる喜び 共に歌う	菅井 仁
	子ども・教材・授業 食文化を教材として考える	斎藤敬一
	男子に家庭科を	大原尚子
	教師・親の心、子知らず	林 和人
	仲間の手帳 よろこびいっぱい一年生	植田健稔

山のある町の子どもたち	八巻シウ
「狂言」の稽古から	田中憲夫
つぶやき	高橋香代
子ども どきどきドキドキ	丹野伸一/梢裕美
六号を読んで 広力先生への手紙	花島政三郎
ぼくもいつかはそういう授業をしたい	加藤修二郎
内容を表現する適切な見出しを	中村敏弘
仲間の本 科学の方法	菅原義一
例会・民教連「教師の学校」をのぞく	秋田洋一
外国語教育研究サークルの歴史	鈴木吉作
「教育研究」二つのすがた	千葉建夫
犬もあるけば(第二回) みやざきのりお	
あのころを語る(6) 鈴木道太/佐々木正/宮崎典男/大村榮/菊地新	
表紙	岩佐慶治・カット 村山盛一

## 第8号目次(1988年8月)

写真	卒業授業	千葉建夫
巻頭言	疑問	菊池 鮮
実践報告	生命の誕生	吉田 茂
	ぶちあわせ太鼓	伊野雅行
	「卒業授業」報告 「はな」を授業して	門真 隆
	門真隆先生の授業によせて 斎藤章夫/春日辰夫/千葉建夫/	芦沢紀子
	子ども・教材・授業 作文の初期指導について	遊佐直行
	「東京バラード」の授業をふりかえって	菊地省三
	菊地さんの原稿を読んだ感想	千葉建夫
	悩みゆれ動く受験生と共に	森 達
	向き向きにしゃべる児らと	柴田 敏
	教具作り 手軽で精度のいい日射計を作ろう!	守留野勝改
	仲間の手帳 「まわりってどこなの」「えっ」	二階堂喜代子
	またひとつ若くなった自分と向き合いながら	岩淵清裕

船小理科集団 佐藤慎一  
 高校数学の新しい流れ 中本潔志  
 小林真一先生に学ぶ 小林真一の仕事から守るもの 佐藤弘友  
 それぞれの出会い 平山正之/前野忠夫/伊藤静夫  
 真山栄子/小野寺智子/佐藤知行  
 犬もあるけば (第三回) みやざきのりお  
 あのころを語る(7) 鈴木道太/佐々木正/宮崎典男/大村榮/菊地新  
 表紙 岩佐慶治・カット 志野俊寿

教科書を上手に使うには 半田秀文  
 私にとって教科書は 西沢晴代  
 仲間の手帳 思い出に残る授業 石川 敦  
 太鼓につどう 渡辺孝治  
 子ども サキ 門真 隆  
 子どもの日記から 佐藤礼子/湯田香織/佐藤牧子  
 犬もあるけば (第5回) みやざきのりお  
 仲間の本 こだわりに生きてー小林真一の仕事 熊谷鉄治  
 いま、どんな仕事を  
 (仙台国語サークル)子どもによりそって作品を読む 田中三代  
 (生活指導サークル)例会、ワークショップにつどう 加藤修二  
 あのころを語る (8) 鈴木道太/佐々木正/宮崎典男/大村榮/菊地新  
 表紙 岩佐慶治・カット 志野俊寿

## 第9号目次(1990年1月)

写真 菅野富士雄の授業 千葉建夫・佐藤信雄  
 巻頭言 なにをどうする 鈴木市郎

### 実践報告

Joe Cradock's Old Woman の読みとりの授業 菅野富士雄  
 後藤淳子/芳賀浩/渡辺慎昭  
 1 わたしの歩み  
 2 はなしの活動(言語活動)のひとつとしての読みとりの  
 教授=学習にこだわっていること二題  
 3 教材文 4 教師の読みとり  
 5 Poor White はいかにして生みだされたか  
 6 指導計画 7 授業の記録 8 公開授業で学んだこと  
 9 英語教育におけるよみとりの方法について  
 中学理科 教師の不得意分野でどのように授業をつくったか 高谷隆夫  
 作文 子どもたちと歩んだ一年半 永澤一浩  
 永沢さんの報告を読んで 土井裕子  
 先生と自分--高田英雄のこと 加藤光三  
 ある日ある時間 子どもと「ことば」 平間節子  
 ある授業から 芳賀秀子  
 教科書を考える 作り手から見た教科書 太田 弘  
 空気と水 小石川秀一

## 第10号目次(1991年1月)

写真 保育園の子どもたち・「一つの花」の授業と子ども 松本干登美  
 巻頭言 カマラード、遅々とした歩みだけれど 春日辰夫  
 考えない私になってしまいそう k先生へ 田中京子  
 実践報告 国語「一つの花」の授業と子どもたち 千葉建夫  
 保育 優ちゃんとヒコーキ班の仲間たち 今野広子  
 理科 中学科学の授業と子どもたち 栗田政利  
 おちこぼれからみた生活科教科書 高橋洋子  
 哲学なきソシキの帰属者たち 太田 弘  
 卒業授業 あんた達の担任になれて本当によかった 佐藤知行  
 この子にことばを 金子哲也  
 「さくら学級」のビデオを見て 鈴木享子  
 十二年目のつぶやき 湯村恭子  
 子ども アキラ 門真 隆  
 分校日記 織田紀代子

カマラード10号によせて  
 すべての教科にわたる問題、教科をこえる問題こそ 中森孜郎  
 カマラードの足跡に学ぶ 芳賀直義  
 これからもその場しのぎの実践報告でないものを 菅野 論  
 犬もあるけば(第6回) みやざきのりお  
 仲間の本 日本の子どもに日本の踊りを 久保 健  
 いま、どんな仕事を  
 (多賀城作文サークル)若い芽のつどい 加藤修二  
 仲間のページ 家庭科サークル・宮城生活指導サークル・多賀城  
 作文サークル・仙台国語サークル・音楽サークル・体育  
 同志会サークル・宮城歴教協・美術サークル・授業と  
 表現の会・宮城外国語教育研究会・仙台算数サークル  
 東北民教研に参加して  
 佐藤正夫・菅野富士雄・上村真美・荒井保子・大田利男  
 あのことを語る(9) 鈴木道太/佐々木正/宮崎典男/大村榮/菊地新  
 表紙 岩佐慶治・カット 多賀城中二年

## 第11号目次(1991年12月)

写真 物語の絵「つる」 高砂中三年  
 巻頭言 湾岸戦争と教育の課題を考える 中森孜郎  
 実践報告 朗読劇 地人会上演台本「この子たちの夏より」  
 -1945・ヒロシマナガサキーの上演に取り組んで 佐藤絃子  
 算数 算数の授業について 高橋 建  
 社会 日本の農業学習で展望をどうもたせるか 加藤正伸  
 コメント 田中武雄  
 社会 自分を語る子どもたち 広沢曜太郎  
 コメント 千葉建夫  
 教師への提言 科学と理科 西村 肇  
 小特集 学校・教師・授業を考える  
 「考えない私になってしまいそう」を読んで

①田中さんの手紙を読んで 赤松 世  
 ②K先生への手紙に寄せて 松本桂子  
 ③田中京子さんへ 平塚 隆  
 教えられた者の側から 先生は心の豊かな飼育係に 雅 星  
 私の学校観 小松初美  
 学校の外から 記者と教師 原 真  
 ドライポイント 物語の絵「つる」 村山盛一  
 子ども・教室風景 生ごみの授業 吉田みゆき  
 トオルのこと 門真 隆  
 子どもに学ぶ 本田 良  
 教師のせい 村井由美  
 一人ぼっちより仲間がいたほうがいいよ 鈴木喜重子  
 一つの壁 勝然たみ子  
 読者の声 新指導要領について考えたこと 平間節子  
 飾らない実践記録から学ぶもの 小熊信治  
 東北民教研に参加して

作文 菅野論・教師の文学活動 菊池 鮮  
 外国語 菅野富士雄/清水善章 国民教育運動 高橋浩太郎  
 犬もあるけば(第7回) みやざきのりお  
 サークル訪問 音楽教育の会 彼らを追って 加藤修二  
 栗原国語サークル いまどんな仕事を 平山正之  
 あのことを語る(10) 鈴木道太/佐々木正/宮崎典男/大村榮/菊地新  
 表紙 岩佐慶治・カット 大野田小四年鈴木学級

## 第12号目次(1992年9月)

写真 いちねんせい(大野田小・大槻学級) 千葉建夫  
 巻頭言 ジャンセーニュさんの学校 宮崎典男  
 実践報告 社金 青野木開拓の歴史を探る 佐々原和子  
 コメント 編集部  
 国語 詩「夕方の三十分」 土井裕子

生活	「人のからだ」の授業	成田郁子
図工	一年生の思い出袋	小林香保子
社会	中学生は先生と“共に”成長したがつている	今野 充
	アキラとケン—一巨視的にみる—	門真 隆
小特集	教科書を考える	
	どうしてこうなの	宮城の教科書採択
	新しい教科書を読む	西沢晴代
	国語	ああ、やっぱり教科書なんだな
	生活	—二ページに八十五回
	保健	恥ずかしさと心配のためにこそ
	図工	現場での使い方に危惧の念をい
	教科書を比較して考える	花を植えることは社会科か
	実践報告への批判1	平山正之
	カメラード11号「一つの花」の実践を読む	
文学に「楽しさ」か抜けたらおしまいじゃないですか		菊池 鮮
子ども・教室風景		保健室で
		数見敬子
		ドクダミ修行
		安斎知恵子
		「もろ、おもせがったあ」
		中野典子
		子どもたちとの出会い
		鎌田充信
		口絵写真 「いちねんせい」
		千葉建夫
		高校人試問題についてのちいさな検討と提言
		宮崎典男
		半田さんを偲ぶ
		サークルの中での半田君
		阿部誠喜
		半田さんと私
		紺野 勇
		激動と混沌の時代に必要教育の理論を求めて
		—教科研・宮城の会—
		中森孜郎
		いま、おもうこと…… 「子どもが好きです」に学ぶ
		千葉保夫
		いまもかかわる物好きはなぜ!
		岩沢恵子
		やくそく
		佐々木隆二
		学校教育の中から「一歩やすめ」の再考を
		徳本秋則
		今、私にとって大切な時間
		本田 良
		子どもや親の感想に支えられて
		春日辰夫

	あゆみ講座の残したもの	千葉建夫
	声 私の中の「サキ」	林 静江
第14回	「明日の授業のための教育講座」に参加して	伊藤美穂
	機関誌紹介 「宮城の歴史地理教育」「歌は輝き」	
	サークル訪問 能力発達サークルをたずねて	加藤修二
	東北民教研集會に参加して	菅野富士雄/佐藤康/松原晶子
	あのころを語る(11)	鈴木道太/佐々木正/宮崎典男/大村榮/菊地新
	表紙	岩佐慶治・カット 上野山小四年

## 第13号目次(1993年6月)

	絵	「わたしのくつ」(小4)
		「表わしてみたいこと、伝えたいことは何か」(小2)
	巻頭言	「寝た子を起こすな」という発想
	数見隆生	
実践報告		「土」の授業に取り組んで
		小野寺由美子
		コメント
		編集部
	国語	読みとこどもと授業
		加藤修二
		コメント
		編集部
	美術	「わたしのくつ」
		志野俊寿
	美術	表してみたいこと、伝えたいことは何か
		杉田 繁
	体育	「後ろまわり」
		今野 孝
		コメント
		久保 健
特集	授業と学力を考える	
	学力の問題を考える1	学力と意欲
		中森孜郎
	学力の問題を考える2	「新学力」論のジレンマ
		田中武雄
	私と学力1	「分かる」ことで見える世界が広がるような力を
		阿部誠喜
	私と学力2	とにかく考える力をつけたい
		春日辰夫
		私と学力3
		リエちゃん
		本田 良
	教材の本質と学力	時制の授業で何を教えるか
		赤松 世
		教科書を読む
		一・二年作文教材をみる
		太田貞子
		新教科書「国語」を比較してみ
		仙台国語サークル

こども・教室風景 「先生こっちむいて」 山内公子  
 早起きしたカイコ 大宮せい子  
 ダイチャン 成田郁子  
 イサム君の手紙 木田陽子  
 考えることが好きな子に 中野典子  
 教育・教師・仕事を考える スイートテン・スクール 浪岡美奈  
 筋ジストロフィーと入院 大久保恵美子  
 作並の熱い夏 佐藤由紀子  
 太田弘さん（現代美術社社長）を偲ぶ  
 個をつらぬき生きた人 千葉建夫  
 木との出会い、人との出会い 岩佐慶治  
 「定期便」は終わった 春日辰夫  
 さとみさんの「春」 橋本とも  
 仲間の本 授業のための教師のよみ・ヒロシマの歌（H）  
 子どもの文をよむ さとうまこと「おねしょのはなし」を読む  
 佐藤正夫/阿部広力/太田貞子/坪内修/渡部やす子/永沢一浩/秋田洋  
 あそこを語る(12) 鈴木道太/佐々木正/宮崎典男/大村榮/菊地新  
 表紙 菅野潤一 ・ カット 坪沼小二年

## 第14号目次(1994年1月)

口絵写真 縄文土器をつくる（人来田小・4年） 林 和人  
 巻頭言 その人の感覚はその人の思想です 日食正昭  
 実践報告  
 一年生の生活科 草も木も人もみんないっしょに生きている 千葉建夫  
 作文 絵から文字への表現活動 高橋三代  
 体育 こころの助走 吉田 茂  
 社会・図工 縄文土器をつくる 林 和人  
 中学体育 一年間の体育で学び考えたこと 矢部英寿  
 私の学びの原点（第一回）  
 マイナスをプラスに わたしたちの手で本物の

国民教育を 菅野富士雄  
 人と出会い、人から学ぶ 太田貞子  
 自然を考える 太白の森から 上野雄規  
 授業とその検討会を考える  
 国語「えんぴつびな」(長崎源之助作)の授業  
 授業とは残酷なものだ 高橋洋子  
 授業の記録  
 検討会報告 授業追求に徹した 春日辰夫  
 高校生のイギリスだより 佐藤牧子  
 第一信 天性や才能って存在するんじゃないですか  
 第二信 公式は自分の手で発見したいのです  
 第三信 他人と違っていて当たり前なのに、わざわざ平均化しようなんて  
 教育・教師・仕事を考える  
 X・Yよりミミーアントンの方がよくわかる 岩澤一郎  
 広一君たちとの六ヶ月 中野典子  
 丸ごと認める 菅原美由紀  
 たった三人の子どもたち 曾根原朗  
 難破船になったら、どうしよう 菊地文恵  
 門真隆先生を偲ぶ  
 門真隆さんを尋ねる新しい旅 芳賀雅子  
 門真隆さんへの誓い 佐藤義一  
 やさしさと、きびしさと 斎藤章夫  
 門真さんのノート 宮崎典男  
 カマラードの実践報告を読んで  
 「土」の授業に取り組んで(十三号)を読む 岩佐慶治  
 「日本の農業学習で展望をどうもたせるか」(11号)を読む 永沢義人  
 カマラード13号への批判 籠の中のトリか 鈴木市郎  
 この雑誌…… 東美都  
 こども・教室風景 子供たちに教えられたこと 岩松ゆう子  
 教師が励まされるとき 浅野恵一  
 先生、遊ぼう 吉田 茂

子どもたちは無限の知恵をもっている 八巻シウ  
 しあわせ 夏目 洋  
 子どもの文をよむ第二回 作品「お父さんとお母さん」  
 (山田真奈美) までのこと 安斎知恵子  
 犬もあるけば(第八回) みやぎきのりお  
 サークル訪問(外国語サークル) 人の集まりはすごい力を生む  
 学習会例会案内 現代美術社生活科教科書  
 「どうしてそうなの」「ほんとうはとうなの」の実践を検討する会  
 東北民教研に参加して 笠原令一/樽見郁子/永沢一浩  
 あこのころを語る(13) 鈴木道太/佐々木正/宮崎典男/大村榮/菊地新  
 表紙 菅野潤一・カット 沖野小二年

## 第15号目次(1994年7月)

口絵「こすり出しとはりえ」「シャボン玉で遊んだよ」  
 巻頭言 学校教育・教師への期待をこめて 笠原令一  
 実践報告  
 一年生の生活科  
 草も木も人もみんないっしょに生きている(2) 千葉建夫  
 図工 生きた証を こどもと共に 齋藤俊子  
 算数 寺子屋授業「ふぞろいの 1|2m」 船山雅和  
 特集「学校を考える」  
 1 学校とは …… いま「学校」を問い直す 中森政郎  
 2 私にとっての学校 学校雑感(私的学校論) 齋藤敬一  
 もう一つの教育をさぐりあう学校 春日辰夫  
 3 冬の学習会シンポジウムから 授業と「民主教育」 岩澤一郎  
 教師にとっても子どもにとっても自由が一番 渡部やす子  
 4 「中学生教室」から学校を考える  
 「中学生教室」この一年 菅野富士雄  
 具体と抽象の谷間 佐々木光一ほか  
 こども・教室風景 とっこちゃんと二十二人 浅井時子

子どもか輝くとき 富田善信  
 「勉強ノート」と子どもたち 菊地徳雄  
 教室から 海老塚忠  
 うたごえにはげまされて 佐藤正夫  
 先生の、バカアホ 木田陽子  
 私の学びの原点(第二回)  
 長く暗いジグザク道を一家族のしあわせは  
 わたしが教師としての力量を高めていくこと一 芳賀雅子  
 かけがえのない人たちとの出会いの中で一サークルを  
 つくり、サークルに学ぶ一 佐藤知行  
 カマラードの実践報告を読んで  
 「一年間の体育で学び考えたこと」(14号)を読む 久保 健  
 カマラード 14号を読んで 愛読者として 加藤光三  
 教育・教師・仕事を考える 汗 成田郁子  
 第二回国語作文研究会に参加して  
 学ぶ意欲とエネルギーを感じた 川名直子  
 本当に子どもたちか好きなんだなあ 永澤一浩  
 読者の声 仕事を高め合うために 桜井美美子  
 カマラードよ 大宮幸男  
 子どもの文をよむ第三回  
 「いつもいつもスタートラインにいるようなものだ」 本田 良  
 私の本棚 村井実著「もう一つの教育」 秋田洋一  
 大内洵子著「ジュンコ先生のドイツ教育体当たり奮戦記」 千葉保夫  
 サークル訪問(算数サークル)  
 算数の悩み、何でも相談にのります 加藤修二  
 あこのころを語る(14) 鈴木道太/佐々木正/宮崎典男/大村榮/菊地新  
 表紙 菅野潤一・カット「一年生のある日ある時」矢本西小

## 第16号目次(1995年1月)

	口絵写真 「50キロを歩く」
	巻頭言 家庭科と国際家族年 安孫子麟
実践報告	なぜ学校へ一学級びらき、わたしの小さな試みー 関 令子
	家庭科 家族の大切さを感じとらせ、
	自立して生きる力を育てたい 日食恵美子
	コメント 西原典子
	生活科 「草」の授業から 奥田知子
	中学校 50キロを歩く 亙理・荒浜中学校
特集「ある日ある時」	子ども・親・教師は・・・
	...なぜこの特集を 編集部
親と子ども	
1	お父さんもお母さんもお前たちの応援団だ 牧村理恵子
2	私の失敗・・・「はだしのゲン」てん末記 平間節子
3	お母さん、勝手なイメージもたないで 上野貴美子
4	幼・小・中の三人の子と 南部よし子
報告を読んでの感想	太田ミチ子/吉田朗子/加納千尋/牧野健
教師と子ども	1 幕切れの悪い一日 熊谷賀世子
	2 しっかりしてよ、男の子! 木田陽子
	3 教室に生きる喜びは、いつ 秋田洋一
報告を読んでの感想	佐藤知行/金子きくえ/三浦恭夫/佐藤正夫
	カメラード15号を読んで
	私の体験的学校論の序論と十五号の感想 遠藤惟也
東北民教研茂庭集會報告	
	夜が暗ければ暗いほど、星がますます強く輝くように 吉田 茂
	東北民教研に参加して 斎藤智加枝/太田正博/小高わか奈
	私の学びの原点(第三回)
	「出会い」を糧に、「もの人間」の歩んだ道 岩佐慶治
	文庫と歩んだ二十四年 川端英子
	こども・教室風景 ある日の保健室 松谷三喜子
	サカサケヤキ物語 高橋律子

	うらしまたろうごっこを楽しむ子 石堂みや子
	ある日の中学生と教師の会話 遠藤利美
教育・教師・仕事を考える	「はだしのゲン」上映雑記 鹿戸佳子
	いま私たちが取り組んでいること 佐藤昭彦
	学びと人を求めてー古川のサークル活動ー 高橋秀弘
授業を考える	「かもとりごんへえ」の授業(一年)
	学びの場は「つくる」ものだ 高橋洋子
	かけがえのない時間だった 吉田みゆき
	授業と検討会報告
子どもの文をよむ 第四回「ねこの『おやびん』」を読む	
	渡部やす子/斎藤章夫/菅野論/土井裕子/菅野富士雄
	サークル訪問(教科研宮城の会)
	ほんとうに授業を知りたいのなら 加藤修二
私の本棚	松永勝彦著「森が消えれば海も死ぬ」(K)
	斎藤洋著「ルドルフとイッパイアッテナ」(R)
	コレドール著佐藤良雄訳「カザルスとの対話」(S)
	読者の声 皆川秀雄/斎藤俊子
あそこを語る(15)	鈴木道太/佐々木正/宮崎典男/大村榮/菊地新
	表紙 菅野潤一・カット 岩佐慶治

## 第17号目次(1995年7月)

	口絵写真 「頭で立つ、ともに立つ、自分の体で立つ逆立ち」
	『猫は生きている』にとりくんで
巻頭言	内なる国際化「子どもの権利条約」から考える 田中武雄
特集	戦後五十年を考える 編集部
	あの日から 他人ごとではない 佐藤忠良
	私は何を基本として生きてきたか 西村 肇
	私の転機と人生 勅使河原安夫
	わたしの旅 小野和子
	昭和史生きた母に戦後50年を思う 三浦恭夫

戦中教育の問い返しをバネにして 中森孜郎  
 人間解放の歴史こそ 高橋浩太郎  
 繰り返さないために ひとりの語り部として 吉田六太郎  
 国定教科書に墨をぬる 太田貞子  
 歴史から問われる教育責任 一戸富士雄  
 古稀にして憶う「しあわせ」 芳賀雅子  
 平和こそ 平和こそ総ての基本である 高木敏子  
 未来を拓く希望の鍵を! 天野文子  
 戦後50年を生きて 青木正芳  
 最後の戦中派(?)として 富樫昌良  
 日本国憲法を守ることこそ 福土光夫  
 道しるべを見失うことなく 石川ヨシ  
 心に残る傷跡 大友みつ子  
 基本は反戦平和 前野忠夫  
 「戦争を知らない世代」へ父が残していったもの 菅井 仁  
 戦争を語りつく映画「戦争と青春」 三戸部えみ子  
 重い生命として 重い生命の内面から 大田 堯  
 50万年と50年のはざままで 市川恒次  
 父ちゃん 吉田 茂  
 P E A C E・・・生きる・・・人らしく 鈴木啓子  
 教育は 未来への小包 大村 榮  
 学校教育はよくなったのか、悪くなったのか 菊池 鮮  
 読む楽しみ 林 光  
 ひとすじに この道を歩こう 加藤光三  
 教師四〇年サークルに生きる 下山敏勝  
 サークル狂と言われても 富樫康雄  
 実践報告  
 体育 頭で立つ、ともに立つ、自分の体で立つ逆立ち 鎌田克信  
 朗読劇 「猫は生きている」にとりくんで 千葉保夫  
 国語 花岡大学の「水」と取り組んで 本田 良  
 社会 15年戦争をどう教えたか 加藤正伸  
 教育・教師・仕事を考える

子どもたちにはとてもかなわない 阿部明子  
 教材の良さを子どもと共有して 小林香保子  
 発声練習なし、いつも話す声で歌います 佐久間徹  
 私の学びの原点(第四回)  
 「ことば」にこだわって生きる 鈴木市郎  
 親は越えることのできない大きな存在 太田ミチ子  
 こども・教室風景 K君 村上干恵子  
 物語文の授業を通して 千葉政典  
 こどもからの手紙 斉田久典  
 やはり、授業で 後藤真理子  
 「復活—コペル君ノート」を通して 伊野文子  
 子どものこと二つ 戸田慎一  
 間違えるほどかしくくなる 渡辺孝之  
 読者の声 子どもの育ちをさまざまな角度から 宇根岡美由紀  
 授業を考える 円周率・円の面積の勉強 林 和人  
 子どもの文をよむ第三回 「ズボボボボボ」を読む  
 矢目萬理/安齊知恵子/金子きくえ/阿部有紀子/遠藤惟也  
 私の本棚 ケンちゃんトシ先生 中野典子  
 私の感傷的食物誌 春日辰夫  
 教師の生きがいについて 中森孜郎  
 サークル訪問 (白石国語サークル)  
 地域サークルで動く人たち 加藤修二  
 あのことを語る(16) 鈴木道太/佐々木正/宮崎典男/大村榮/菊地新  
 「カマラード」をつくる  
 表紙 菅野潤一・カット 岩佐慶治

## 第18号目次(1996年1月)

口絵版画 版画紙しばい「ごんぎつね」より 巻頭言 杜の都「青葉山」と環境教育 植村干枝 特集 自然を考える 自然と人間について考える授業 春日辰夫 報告を受けて ①考えつづける子に育てるしごと 千葉建夫 ②「もともとのこと」の教材論的連鎖性 田中武雄 ③<教えるに値する教材>を追求した春日さんの <もともとのこと>を考える(小四)実践 永田英治 ④「自然と人間の共生」の授業化について 太田直道 話し合いのまとめ 「もともとのこと考える」の実践の 二回の検討会を終えて考えたこと 中森孜郎 ザル川の自然と環境 上野山小学校放送委員会 実践報告 理科 大地の歴史<地球と人間> 菅井 仁 子どもと自然 恵まれた自然の中で育つ子どもから学ぶ 高橋幸子 国語 「森林のおくりもの」(東京書籍五年上)の授業 遠藤惟也 図工 版画紙しばい「ごんぎつね」 佐々木千鶴子 不思議・不思議!・うらやましい 加藤修二 教育・教師・仕事を考える 「学ぶ」ことを問い直す 江島隆二 未来につながる今 堀 佳子 義務をはたしているか 小野寺力 私の学びの原点<第三回> 手づくりの良さを、反権威を基本に 菅野邦夫 仲間あってこそその活動 太田ワサ子 教育に期待するもの ①「教え過ぎ」は、やめて 鈴木紀良 ②自然を感じることの大事さを 細川 昭 ③飽食への戒め 熊谷敏満 ④田んぼから 小関俊夫 ⑤ブナ林 その豊かなるもの 小河原武 カマラード17号を読んで	
---	--

種はまかれている 西沢晴代 しまっておきたいの 内館きよみ 人が人らしく生きるために 田口純一 ぼくの中の吉田茂さん 清岡 修 共生、 その常識と科学 西村 肇 こども・教室風景 二歳児の主張 浅野三奈子 一瞬の"太田先生" 戸津川晴美 オリオンが見えるころ 佐藤真智子 わたあめ屋・くり屋・まめ屋 本田義幾 授業を考える 「えんぴつびな」の授業に取り組んで 中野典子 中野さんの授業を見て読むということをいろいろ考えさせられた 春日辰夫 読者の声 戦争を知らない私たち 大友幸子 実践報告「頭で立つ…」を読んで 山口良之 こどもの文を読む第六回 作品「よっぱらってかえってきたお父さん」を読む 佐藤知行/齊藤智加枝/鹿戸佳子/菅野富士雄/石堂みや子 わたしの本棚 四年生の戦争/金子哲也 草木染め張り絵/私の草木賦 伊藤裕一 寄生虫館物語/佐藤由紀子 自然と遊ぶ 「キブシ通信」と私 渡辺正美 サークルの近況 97年暑き夏に向けて! いま宮城歴教協は輝いている! 宮城歴史教育者協議会 平山正之 私の"恋"は今、真っ盛り 宮城県作文サークル協議会 橋本康生 働きかける瞬間 宮城音楽教育の会 日食正照 あのころを語る(17) 鈴木道太/佐々木正/宮崎典男/大村榮/菊地新 表紙 菅野潤一・カット 天真小の子どもたち	
---	--

## 第19号目次(1996年7月)

	口絵写真	二つの卒業授業	千葉建夫
	巻頭言	私の文化論	菊池 鮮
特集	文化を考えるー出会い		
	・写真との出会い		
	授業に深く、美しく、集中する子どもたち	小野成視	
	絵との出会い	これが本当の絵だよ	太田邦三
	映画との出会い	夢見の技法ー映画の中の恋	及川俊弘
・	演劇との出会い	わたしは演劇に出会う前に	
	「劇」に出会っていた	早川ひさし	
・	音楽との出会い	私の音楽創世記ー石井先生の思い出	南部敏郎
・	表現との出会い	広い校庭に、美しく、命あふれる歌声が	遠藤惟也
・	人との出会い	生き方を厳しく問われた私の学び	岩沢啓子
	・文庫との出会い	私が元気になる日	佐々木博美
	・人との出会い	それは大崎	皆川秀雄
	・植物との出会い	山路にひっそりと咲く野の花	岩佐慶治
	・民話との出会い	民話と私	山田裕子
・	民舞との出会い	目を広げてくれた民舞との出会い	秋山正樹
	・民舞との出会い	鬼剣舞の鬼火となって	佐藤正信
	実践報告	卒業までの日々	関 令子
		保健 かぜと戦うからだ	吉田 茂
	国語 詩「うんこ」の授業(1)	三年生と	山内公子
	詩「うんこ」の授業(2)	四年生と	加藤修二
	詩「うんこ」の授業(3)	二年生と	大宮せい子
	私の学びの原点<第六回>		
	大正自由主義教育の息吹の中で	大村 榮	
	民話をたずねる旅は自分を探し読ける旅	小野和子	
	共生、その常識と科学(2)	西村 肇	
カマラード18号を読んで			
	「環境」ということと、「環境と人間」ということ	河相一成	
	矢本からの便り カマラードをみんなで読む	斎藤俊子	

	子ども・教室・学校	満足した「友達」の顔	前川由宜子
		素敵なおもちの取り合い	渡辺玲子
		"ことばの教室"から	曾根原はつみ
		ある日の部活動で	壺岐史章
		「実践」とよべるものを夢見て	鈴木康史
		本当はまっとうに生きたい	佐藤隆之
	授業を考える	二つの卒業授業	
	その1	詩「おみやげ」(まど・みちお)の授業	一年生
		「おみやげ」の学習を終えて	齋藤敬一
		齊藤さんの授業で触発されたこと	芳賀直義
		「おみやげ」の授業を見て	貝塚順子
	その2	物語「あしたの風」(壺井栄)の授業	四年生
		学びの機会を多くの人たちと	土井裕子
		「あしたの風」の授業を振り返る	春日辰夫
		春日学級の授業で学んだこと	高橋洋子
		検討会に参加して	佐藤勝子
		「あしたの風」の授業から思いついたこと	佐藤九二一
	記録	巢から落ちたヒヨドリを育てて五年間	加藤香織
		こどもの文を読む第七回	
		作品「どうなるんだろう」(伊藤健太郎)を読む	
		中鉢和典/佐伯陽子/藤野美紀/芳賀雅子/佐久間泰子	
	わたしの本棚	近現代史の真実は何か	平山正之
		長者原老嫗夜話	中野典子
		続日本の歴史をよみなおす	秋田洋一
		「天使の恥部」と私	広瀬恵子
	仲間の本	中森孜郎著 学力・教育・学校を問い直す	春日辰夫
		サークルの訪問 養護教諭の仕事って	加藤修二
		サークルニュース	
	あのころを語る(18)	鈴木道太/佐々木正/宮崎典男/大村榮/菊地新	
	表紙	菅野潤一・カット	六郷小一年二組の子どもたち

## 第20号目次(1997年1月)

	口絵写真	こども・あそび・なかま	千葉建夫
	巻頭言	厳しく遠い道をひたすらに	遠藤惟也
特集	こども		
	こどもを考える	赤ちゃんから仲間の中で育つ	小野ともみ
		乱世(実力世界)で生きる子ども達	村松敦子
		学習集団への道	菅野富士雄
		子どもたちへの回想	長倉洋海
忘れられないこどもたち	私の出会ったこどもたち	中森孜郎	
	元気をくれた子どもたち	揚妻和子	
	共育ち	笠原令一	
	やさしい子どもたち	富樫三千子	
	これからがあなたの時代	渡部やす子	
	それにしても早く駆け逝った	佐藤澄子	

### 実践報告

- 1、美術 どの子にも豊かな表現力を 村山盛一
- 2、算数 イメージ豊かにとらえさせる対称の指導 阿部誠喜
- 3、国語 一年生の「かな文字指導」 佐久間泰子
- 4、国語・詩 「鯉釣り」の授業(1) 六年生と 石川 敦
- 5、「鯉釣り」の授業(2) 三・四年生と 内海 泉
- 6、「鯉釣り」の授業(3) 五年生と 千葉政典

### 私の学びの原点(第七回)

	読み方をやろうと考え始めるまで	宮崎典男
	なんでも見たい、やってみたい	那須 静
子ども・教室・学校	S子への手紙	瀬成田 実
	嘉太神からの問いかけ	浦山純子
	歌でサヨナラ	小澤 登
	(小景異情 その二)の授業から	大槻邦敏
	K君の可能性	佐野香奈子
	マンネリ化教師が教えられたこと	鈴木睦彦
	「学校」に思うもの	橋本陽子

	仕事を語る	街の緑と私たち	太田成一
カマラード19号を読んで		大いなる挑戦を	高橋浩太郎
	詩「うんこ」の授業を私もしてみた		佐々木永一
新連載	ちいさこべ	第一回	教材さがし 春日辰夫
仲間の本			
	千葉保夫・黒澤恵美著	歯のふしぎ	骨のだいじ 春日辰夫
	わたしの本棚		「星の王子様」 岩淵清裕
			「魂の殺人」 村井由美
			「赤ひげ診療譚」 菅井 仁
あなごころを語る(19)	鈴木道太/佐々木正/宮崎典男/大村榮/菊地新		
カマラード総目次		創刊号~19号	
			編集後記
	紙	菅野潤一・カット	沖野小一年

## 第21号目次(1997年7月)

	口絵版画	「こめっこものがたり」より	斎藤俊子
今 思うこと	納得のいく授業を一つでもしたい		高橋洋子
特集	学ぶ楽しさ・おもしろさ		
		たとえ牛のごとき歩みであろうとも	芳賀 浩
		学んでいるような気がする	中鉢和典
		感動的な出会いは突然やってくる	西澤晴代
		無性に何かを学びたくて	吉田嘉子
		ささやかなファイトもわいてくる	芳賀美枝
		学ばずに行動することは怖い	須藤道子
		ふいに訪れた俺の学び	吉田 茂
		知の最前線	笹森賢一郎
		授業を楽しく面白く	伊藤裕一

### 実践報告

- 1、生活 矢本のこめっこものがたり 斎藤俊子
- 2、社会 戦争の反省から日本国憲法へ 手代木彰雄

3、体育 後悔から始まったとびばこの実践 内海 泉  
 4、保健室 子どもをどうとらえ、どう育てていくか 高橋芳子  
 子ども・教室・学校

こんにちは ことばの教室 鈴木英美  
 中学生教室の一日 清水善章  
 消えた子どもの自治組織 金野正行  
 「本当は～したいんだよね」 小森 純  
 心に余裕があれば 内海正之  
 Mちゃんとの出会い 高橋研一

「だめ」教育から「いいよ」の教育へ 八反田史彦  
 談話室 映写技師「虹をつかむ男」を叱る

私の学びの原点（第八回） 教師開眼の記 芳賀直義  
 いつも生き方を学んでいる 谷津芳江  
 カマラード20号を読んで

不まじめな読者のまじめな感想 橋本とも  
 20号を読んで 皆川多喜子

感想あれこれ 菅野 諭  
 「子どもの可能性をひらく」という仕事 浅野恵一  
 「学習集団への道」を読んで 岩澤一郎

授業を考える  
 詩「きりん」（まどみちお）の授業四年生と 菅井 仁  
 四年生と 矢板真由美  
 五年生と 佐藤澄子

私はこう読む 詩「鯉つり」のもうひとつの読み 菅野富士雄  
 報告 研究センター作成学習資料不当介入問題報告集会  
 一枚の絵と子ども かた髭しかない「猫」 千葉建夫

気になること 「ウワッ」という声 あれは何なんだ 菊池 鮮  
 追悼 「きた出版社長」北村秀雄さん 大村 榮

門真隆遺稿集「子どもと生きて」をよんで  
 「ばかなことをした・・・」の心根を共有したい 雫石寿子  
 「子どもと生きて」を読んで 中野郁子  
 門真先生 ほんとうにありがとう 鈴木浪子

樹木の博物誌 サルトリイバラ 太田成一

私の本棚

「自然農法わら一本の革命」 我妻耕一  
 「うつくしいえ」 海老塚忠  
 「マース・カニングハムのための音楽」 加藤修二

仲間の本

春日辰夫著「土・水・森林・海 そして人間の授業」 藤井将喜  
 サークルから なぜサークルに行くのか 鎌田克信  
 ちいさこべ 第二回 資料を考える 春日辰夫  
 あそこを語る(20) 鈴木道太/佐々木正/宮崎典男/大村 榮/菊地新

表紙 志野俊寿 ・ カット 菊地文恵

## 第22号目次(1998年1月)

口絵写真 「塩釜・あゆみ保育園」 松本千登美

今 思うこと ふたたび学習会へ 高橋三代

実践報告

1、学級と文化 表現し育ち合う子どもたち 真山栄子  
 コメント 学級に文化を！ ぼくは賛成です 加藤修二  
 2、作文 綴ることで本当のつながりを見つけたい 山崎早苗  
 コメント 自然や社会の中で人間は育っているのです 太田貞子  
 3、保育と音楽 六年間の保母生活から 熊谷智美  
 コメント 分け入っても分け入っても青い山 菅井 仁  
 4、生活指導 中学校の宿泊行事に新風を 瀬成田実  
 コメント 子どもを主人公にするということ 花島政二郎

小特集 憲法五十年

第一部 憲法との出会い 栗原 昇  
 御憲(みのり)と、勅(みこと) 芳賀雅子  
 新憲法の制定をどう受けとったか 佐藤弘友  
 憲法に思うこと 安藤正一

第二部	憲法・けんぽう・KENPOU	高見史保
	新しい憲法のはなしをよんで	荒井知朗
	私の学びの原点 (第九回)	
	私を決定づけた教え子たち	高橋 治
	子どもの見方を教えられて	武山節子
こども・教室・学校		
▽ こどもと教室		
	「初め的一步」	前田まゆみ
	「子どもになりたい!」	斎藤智加枝
	五時間はやりたいな	渡辺浩一
	迷っているわたし	佐久間泰子
	T君が跳べた!	斎藤智子
	自立へ向けて	片岡千恵子
	アイガモと疎植に学ぶ子どもたち	奥平大和
	K君が入学してから学んだこと	岩淵清裕
	総会で侃侃諤々、文化祭テーマ	戸嶋 慎
	「先輩」と呼ぶことについて	加藤敬三
▽ 学校と教師		
	学校の中のおかしさ	佐伯陽子
	学校の中の教師というもの	赤間浩司
	ステージの奥にいる「おぼけ」	平山正之
	おかしいと思ったところ	芹沢由利
学校・教室の不思議なこと、おかしいと感じること		関根ふじ子
	勤労感謝の日に考えたこと	奥野成賢
	談話室 大工の棟梁	大いに語る
一枚の絵と子ども		うるさい妹だがかわいい
	詩「いなかのあいさつ」	五年生と
授業を考える		六年生と
	澤井文彦	
時の動き		亡国の道
	川端純四郎	
わたしの本棚		「古典との再会」
	太田直子	
	「科学する野球レッスン」	中村 徹
	「男性解体新書」	藤原 聡
投稿		担任にもどりました
	渡部やす子	
仲間の本		宮崎典男著「つづり方指導の段階」
	永澤一浩	

宮城県歴史教育者協議会編

	「歩いて調べるみやぎの歴史ガイド」	千葉保夫
	樹木の博物誌	丹波グリ 太田成一
気になること		ほんね 菊池 鮮
ちいさこべ 第三回		キラキラ生きる 春日辰夫
サークル訪問		
地域サークル 石巻 明日見の会を訪ねて二十五里		加藤修二
かざぐるま		サークルに集う仲間たち
カマラード 21 号を読んで		新人の読者より 新田善恵
あのころを語る(21)	鈴木道太/佐々木正/宮崎典男/大村 榮/菊地新	編集後記 菊地文恵
	表紙 志野俊寿 ・ カット	

第23号目次(1998年8月)

	口絵写真 「日食学級の子どもたち」	松本千登美
今 思うこと	農業も教育も命あるものを育てる仕事	小野寺勝徳
実践報告		
	1、音楽 子どもらの輝きをもらって	日食正昭
	コメント「子どもらの輝きをもらって」について	太田直道
	2、生活科 草花は生きている	大宮せい子
	コメント 大宮実践の今日的意味について	中森孜郎
3、生活科	育てよう作って食べよう野菜だホイ	鈴木真木子
	コメント 家庭科好きな教師に心からのエールを	中屋紀子
4、生活指導	卒業 —— 「一日学級」奮戦記	佐藤由紀子
	コメント 「子どもたちと作る=創る」を	
	もっと日常の実践に取り入れよう	斎藤敬一
特集	子どものからだと心	
	第一部	子どもの声に耳を傾けて
	Sちゃんとして	高橋浩子
	養護学校へ転校を決意したY	松谷三喜子
		数見敬子

第二部 心やからだの葛藤を通して 村井由美  
 反比例の授業と六年の子どもたち 林 和人  
 A君の「いい顔」 佐々木光一  
 かずくん 三浦和恵  
 往復書簡 半歩でも一歩でも前進したい 小林佑子  
 子どもたちを束ねないで・・・ 中野典子  
 思いやりのあるクラスを作りたい 坂井千里  
 見知らぬ若い教師のあなたへ 渡部やす子  
 こども・親・教師  
 年々可愛くなっている 小田靖子  
 牛乳パックで乾杯！ 伊藤さゆり  
 電話の向うから・・・ 矢板真由美  
 いつかは蓮の花と咲く 小野寺浩之  
 Nさんのことから考える 大山あけみ  
 たまごの木 杉村江里  
 「共に育つ」ということ 針生ゆかり  
 「小学生の母」になって思うこと 佐藤真紀  
 Sケンにはまった子どもたち 高橋愛一郎  
 談話室 ラジオから流れた話  
 一枚の絵と子ども 六月のカレンダー 吉田嘉子  
 授業を考える 詩「電車の中で」 六年生と 川名直子  
 四年生と 中村真知子  
 カマラード 22号を読んで  
 詩「いなかのあいさつ」の授業についての感想 斎藤章夫  
 六郷地区教育を語る会の歩み  
 一人の教師として、また一人の母親として学んだこと 橋本由美子  
 書評 山本周五郎著「泣き言はいわない」 三浦恭夫  
 わたしの本棚  
 正法眼蔵隋聞記 阿部耕己 グレートジャーニー 高橋智文  
 リビイが見た木の妖精 菊地文恵  
 喫茶店のソクラテス 清岡 修  
 自由論 菅井 仁

化石のつぶやき 千葉保夫  
 「中高一貫教育」の実態とその問題 一戸富士雄  
 気になること  
 三十人学級が実現すれば  
 ほんとうにゆきとどいた指導ができるのか 菊池 鮮  
 22号を読んで 鶴岡孝則  
 ちいさこべ 第四回 茶髪の彼を考える 春日辰夫  
 サークル訪問  
 「生活科の実践を検討する会」を訪ねて 吉田 茂  
 かざぐるま 仙台算数サークル 岩澤一郎  
 学校体育研究同志会宮城支部 江島隆二  
 古川民族芸能の会 斉田久典  
 仙台国語サークル 本田 良  
 多賀城作文サークル 阿部有紀子  
 あのころを語る(21) 鈴木道太/佐々木正/宮崎典男/大村榮/菊地新  
 編集後記  
 表紙 志野俊寿 ・ カット 菊地文恵

## 第24号目次(1999年1月)

口絵写真 「土井・戸村学級のこどもたち」 林和人・吉田茂  
 今 思うこと 綱渡りのような毎日だけど 安斎知恵子  
 特集 私の出会った先生  
 中川先生 一戸盟子  
 私の先生 玉懸洋子  
 図書室に誘われて 上野雄規  
 大百科事典 市川恒次  
 私の出会った先生たち 桜井典子  
 私の出会った先生 高山 登  
 思い出す二人の先生 丑田美代子  
 記憶の中の小さなでき事 中本宏子

明と暗の交錯した苦い思い出 渡辺愛雄  
善玉と悪玉 大友靖雅  
はっきりしない先生との出会い 大村祐子

## 実践報告

- 1、国語 「モチモチの木」に取り組んで 土井裕子
- 2、算数 くりあがり・くりさがりを意識した  
二位数の指導 高橋 建  
戸村 隆
- 3、理科 「もののとけ方」の実践

## 往復書簡

どうすることが子どもたちのためになることなのでしょう

川井あきな  
あなたの優しさを大事に 山内公子  
もっと自分らしく 千坂朋広  
「もっと自分らしく」の実現に向けて 制野俊弘  
子ども・親・教師 「さんぼしています」 杉田良子  
その気になるということ 森 達  
おなら事件？ 庄司 晃  
心のつながりを大切に 氏家富士子  
子どものすばらしさを感じる時 大久保静  
これから・・・ 村岡 昇  
気の合う子合わない子 白鳥利彦  
兄弟げんか 佐々木由美子  
授業を考える 「かけざん」の導入の授業① 佐藤正恵  
「かけざん」の導入の授業② 長谷部晃子  
私の薦める一冊 劇的とは（木下順二） 菅野富士雄  
一つの工作と子ども カマキリ 佐藤正夫  
カマラード 23 号を読んで  
詩「電車の中で」の授業に寄せて 斎藤章夫  
時の動き 平和憲法で国際貢献の道を 高橋浩太郎  
樹木の博物誌 こなすび 太田成一  
気になること 学校のここがおかしい 菊池 鮮  
わたしの本棚 「石川節子」 小野寺浩之

われらいのちの旅人 沢屋敷一子  
アダルトチルドレンと家族 橋本康生  
ノルウエーのジェンダーフリー教育テキスト 西原典子  
小学生に授業 山本純子  
林竹二先生に学びつつ 本田義幾  
仲間の本 久保健編「からだ育てと運動文化」 千葉保夫  
おじいちゃんの子どものころ 金須 信  
ちいさこべ第 5 回 映画「泥の河」に考えたこと 春日辰夫  
サークル訪問 利府カマラードを読む会「リ・フランス」 K  
かざぐるま 気仙沼サークル 「つくしの会」 尾形友道  
宮城歴教協 佐藤昭彦  
仙台作文サークル 高橋三代  
あゝのころを語る(23) 鈴木道太/佐々木正/宮崎典男/大村榮/菊地新  
編集後記  
表紙 志野俊寿・カット 菊地文恵

## 第25号目次(1999年8月)

絵写真 「中鉢・江島学級の子どもたち」 千葉建夫・江島隆二  
今 思うこと 駆けぬけた日々 林 静江  
特集 こどもの いま  
エイサーを踊る子どもたち 鈴木美知子  
地域の中の子どもたち 浅井史章  
子育ては親育ち 藤村優子  
瞳に夢を一五城中のウイング 永尾 勉  
「ただいま！」の声に込められたもの 西方敦子  
B君との再会 遠藤理香子  
ぼくを認めて！ 友達になって！ 鎌田克信  
瞳キラキラ 石橋真理子  
本からの抜粋！「俺の気持ちが変わったまるか」 大久保晋作

## 実践報告

- 1、体育 スピードぶっつけバクダンボール 江島隆二
- 2、算数 面積の指導（小四）シャボン膜で長さ×長さを  
小特集 なぜ今「総合的な学習の時間」か  
1、座談会 『総合的な学習の時間』って何だろう  
2、私の考えた総合学習  
実践1 コムギを育てる 高橋愛一郎  
実践2 わたしが心とからだの主人公 遠藤恵理子  
往復書簡 迷いの中で 吉川 亨  
一緒に悩んで一緒に考える 佐藤由紀子  
漢字の指導はどうやればいいのでしょうか 菊地善子  
わたしは漢和辞典を使える子にすることを目標にした 春日辰夫  
こども・親・教師  
立てない足、使えない手、それでも一人の人間として、楽しい！  
佐藤郁子  
こどもたちの姿から 鈴木久幸  
幼き日々 小野ともみ  
教室の窓から 佐藤恵美子  
一年生を担当して 中谷徳子  
思い違いをしていた 佐々木香子  
「ぞう列車」に取り組んで 藤坂雄一  
学年の子どもたちとふれあって 川名直子  
談話室 小学生の思い出—昭和五年入学 小井 忠  
絵と子ども 花いっぱいになあれ 桜井芙美子  
授業を考える「サーカスのライオン」の授業とその検討 中鉢和典  
「かけざんの導入」を考える 阿部誠喜  
カマラード24号を読んで 「かけ算の導入」を考える 阿部誠喜  
時の動き 新ガイドラインとNATO「新戦略概念」 高橋浩太郎  
虫の博物誌 モンシロ三兄弟をご存知ですか 片岡健司  
わたしの本棚 みすずコスモス 岡野定玲子  
新日本共産党宣言 渡辺孝治  
八島正秋の仕事 岩澤一郎

- こどものとも ふろく 高橋三代  
ああ、学級崩壊 菊池 鯨  
読者から 親自身の勉強にもなる 今野智子  
気になること  
サークル訪問 国語フォーラム合宿 国語への熱い思いを胸に  
歴史教育者協議会 宮城歴史教育者協議会例会に参加して  
かざぐるま 「歌は輝き」から 音楽サークル  
「宮城歴教協ニュース」から  
あそこを語る(23)鈴木道太/佐々木正/宮崎典男/大村榮/菊地新  
編集後記  
表紙 志野俊寿・カット 菊地文恵・勝然学級の子どもたち

## 第26号目次(2000年1月)

- 口絵写真 高橋学級の子どもたち 林 和人  
今 思うこと 共に 真山栄子
- 実践報告
- 1、国語 「あしたはてんきだ」と子どもたち 高橋洋子  
「ぼくのお姉さん」の授業を通して 本田 良  
「文学作品の読み方指導」で大切にしているもの 斎藤章夫
  - 2 社会 戦前・戦中・戦後を通してみた「青い目の人形」 斎藤俊子  
美ら島・沖縄 熊谷賀世子  
斎藤実践・熊谷実践が生まれた背景 佐藤昭彦  
3、音楽 うたうことを楽しみにしてくれる子どもたち 海老塚忠  
「たぴ」にでるのが夢 佐久間徹  
音楽を仲立ちにして共に育つ 日食正昭
  - 4、体育 荒馬に燃え荒馬でつながっていく子どもたち 鎌田克信  
フラグフットボールは何を教える教材か 制野俊弘  
両サークルの実践研究のさらなる発展を 久保 健  
5、保健 からだの学習と綴り方 吉田 茂  
かぜとたたかう体 加藤修二  
加藤実践と吉田実践に学ぶ 千葉保夫

6、障害児ブラックシアターと歌づくりによる国語の授業 高橋 誠  
体育授業と子どもの姿 我妻耕一

発達は、自分から手を出さなければ得られない 八反田史彦  
7、生活指導 宮城の生活指導のこれまでとこれから さとうゆきこ  
こども・親・教師

呼びかけ劇「八郎」に取り組んで 渡邊トミ子  
子どもは変わる 今野喜代子  
今日も、子どもの笑顔が見たい 庄司直子  
N美をみつめて 久我 卓  
父母との共同 山口正富

私の薦める一冊

対話 山田洋次(全二巻) 1 人生はつらいか 2 映画は面白いか

富樫昌良

子どもと作品(彫塑) 頭像「十二才のわたし」 小林香保子

時の動き 王城寺原から 1999年を振り返って 高橋浩太郎

気になること 一斉授業から個別授業へ 菊池 鮮

虫の博物誌2 時間差デートに賭けるチョウたちへ 片岡健司

往復書簡 力のなさを感じる時 石川史子

学級は、もう一つの家族 小畑恒子

どうしたら生活を見つめ書かせられるのでしょうか 井上広子

日記の指導——教師は感動の組織者 太田貞子

わたしの本棚 私のスタイルを探して 大山あけみ

アジアの子ども 石井 宣

かがやく歌ⅠⅡ 日食正昭

家族が自殺に追い込まれるとき 永澤一浩

仲間の本 教材と授業の実践(国語・学校編) 佐藤正夫

25号「スピードぶっつけバクダンボール」を読んで 佐々木由美子

25号「国語『サーカスのライオン』の授業とその検討」を読んで

渡辺延子

24号「繰り上がり・繰り下がりを意識した2位数の指導」を読んで

高橋恵美子

24号「草花は生きている」を読んで 大崎美佳

ちいさこべ5

教科書採択で『学校票』こそ重要視したい——

正論9月号藤岡氏の論に異議をもつ 春日辰夫

サークル訪問

ここにサークルがある——仙台保間研あそび部会を訪ねて 中野典子

あのころを語る(25) 鈴木道太/佐々木正/宮崎典男/大村榮/菊地新

編集後記

表紙 志野俊寿・カット 菊地文恵

## 第27号目次(2000年7月)

今 思うこと 外側と内側からの間で 菅井 仁

実践報告

1、作文 宮城の作文教育を太田実践から考える 永澤一浩

2、美術 「鑑賞」の授業について 関 令子

「むく鳥のゆめ」と関さん 加藤修二

3、理科 動物の形とくらしを学ぶ「コン虫」学習の試み 加藤幸男

「わくわくタイム」自然発見を取り入れた授業 庄子 裕

黒川理科研究会の歩みと実践 永沢義人

4、学校 『豊かな自然と地域のじいちゃん、ばあちゃん

大切な分校の先生』高橋幸子』に学んで 斎藤敬一

\*分校の子どもたちは私の生命力の源 金須 信

5、家庭 家庭一般保育での試み

—ジェンダーフリーの社会をみざして 大津りう子

「布を作る」授業のすすめ 永山栄子

生活の力を養う家庭科——減単位は認められない—— 西原典子

6、国民教育運動 地域と教育で問題にしてきたこと 賀屋義郎

7、幼年 仲間とのかかわりの中で育つ 小森 純

共に育ち合う仲間をめざして 渡辺玲子

二つの実践と仙台保間研の研究活動 杉山弘子

8、養護 自分のからだど向き合うことができるように 高橋浩子

	A子とのかかわりを通して 共感し、寄り添っていく中で 9、生活科 しぜんはめぐる ぼく・わたしが生まれる わたし・ぼくが大きくなる 心豊かな子を育てる教師の仕事 1 0、算数 長さ×長さへのこだわり(四年生の面積) 正比例のメガネで地球環境を観る * (はこ)の発見 1 1、外国語 英問英答をとおしてつくる読み取りの授業 原書の読みとりを目指して こども・親・教師 冬のおいがするよ! 宅配便が届けた笑顔 山の贈り物 えっ 体育の先生? 子どもたちのイメージネーションをくすぐる 虫の博物誌3 チョウたちのかくれんぼ 絵と子どもと作品(絵) 「手ぶくろをかいに」 往復書簡 図工の教科書はどう使えばいいのでしょうか 絵画ではなんとといっても題材、技も身につけます カマラード26号を読んで 『あしたはてんきだ』と子どもたちを読んで 熊谷実践「美ら島・沖縄」を読んで 東北民教研中間集会報告 ①記念講演「夭折の詩人、金子みすずさんと私」 ②シンポジウム「総合的な学習の時間をどうするか」 ③分科会報告 ④本集会(8月8日~10日)の案内 編集後記 表紙 志野俊寿・カット かのうなつみ(生出小4年) 山内学級の子どもたち(2年)	菅井京子 高橋芳子 山内公子 寺由美子 千葉建夫 林 和人 鈴木 正 芳賀雅尋 芳賀 浩 清水善章 佐藤 泉 木村英之 石川 敦 工藤和成 岩館雅恵 片岡健司 佐藤ひろみ 松岡恵子 斎藤俊子 佐藤和代 山口瑞子
--	--	---

## 第28号目次(2001年1月)

□絵写真 「わらしこ」の子どもたちの日々 今、思うこと	撮影 制野俊弘
『次から次へ、なんでこんなことが……』 特集 東北民教研・教育科学研究会 夏の研究交流集会	熊谷富代子
(1) 中森実践をどう受けとめた表現活動の中で、 自己を再発見する子どもたち 文化の持つ力 青葉女子学園での実践を聞いて 教えることの意味を考える 表現活動の保障	中森孜郎 太田政男 教見隆生 小野寺修子 勝然たみこ
(2) 研究交流での学び 分科会の合同で深まった交流実現 二十一世紀を生きる子どもたちなのだから 「障害児と教育」分科会運営に携わって 夏の集会・保育現場奮闘記	伊藤裕一 加藤修二 高橋 誠 佐久間徹
実践報告(作文) 「これがなくちゃ いきていけない」一年生の作文指導 コメント 子どもたちに寄り添って コメント 生活を見つめさせる仕事 親からの報告 わらしこ保育園の仕事 「人間のやさしさ・強さへの信頼」 「未完成の誇り・わらしこの親として」 コメント「わらしこ」は憧れ コメント 仕事を問うてくる「わらしこ」の子どもたち 往復書簡 国語の授業で悩んでいます 読ませたいと思う作品を自分で探して読ませましょう	永澤一浩 高橋三代 中鉢和典 鎌田克信 制野俊弘 渡辺玲子 太田直子 本川 良 木村礼子 千葉政典

小特集 なんかへんだよ、学校・子ども

	ゲンさん語録	山田 敬		
	総合学習さわぎに思う	秋野 弘		
	朝自習は必要か	山内公子		
	「授業」あれこれ	黒木創新		
	何か、変	佐藤直子		
	どこかおかしい	加藤敬三		
	なにかが変だ……と思うとき	佐伯陽子		
一枚の絵	カニをおいかけながら』たかぎみすず	安斎知恵子		
	復刻カマラードを読んで			
	心うたれて 五十年前の母にあう	西原典子		
	教育の原点を指し示す	渡部八郎		
	鈴木道太と私	高橋 誠		
時の動き	宮城県における新たな教科書攻撃	一戸富士雄		
	虫の博物誌4	片岡健司		
子ども・親・教師	小さな学校、小さな地域の良さ	長谷川雅明		
	忘れられない先生	佐々木亜子		
	一歳児との出会い	三上真穂 輝く瞳のために	宍戸裕美	
	S君のこと	勝然たみ子	南中ソーラン	阿部広力
				高橋 浩
27号を読んで	『むく鳥のゆめの授業』を読んで	本川 良		
カマラード27号を読んで②	ほんものがざっしり	南 典子		
私の本だな	橋本 とも／伊藤裕一／川名直子			
	ちいさこべ7	Sさんに学ぶ	春日辰夫	
あのころを語る(26)	鈴木道太／佐々木正／宮崎典男／大村榮／菊地新			
		編集後記		
	表紙	志野俊寿	カット	古澤英子

## 第29号目次(2001年8月)

今 思うこと 「チョロQ」たちと見つけた地域の自然	高橋律子	
特集 学力と授業を問い直す		
第一部 いま、教科書・授業・学校は		
1、「話すこと」重視で日本語の力はつくだろうか	春日辰夫	
2、「ひらがな」の分からない子が増えた	千葉建夫	
3、パソコンで授業は変わるか	菅井 仁	
4、最近の図画工作と「美」	関 令子	
5、世界の禁煙学習から遅れすぎている新保健教科書	千葉保夫	
6、電卓を判断して使える力を	井上博文	
7、からだの学力を考える	吉田 茂	
8、疲れるだけの指定	渡辺圭子	
第二部 授業を創る		
円の面積を求めて円周率を発見する	林 和人	
実践報告		
1、三十一文字で紡ぐ世界	小野寺浩之	
2、仲間の実践に学ぶ	山崎早苗	
3、食と農業とわたしたち	田口純一	
4、全校で楽しめる集会活動を創る	斎藤俊子	
往復書簡 気になる子どもの忘れ物	佐藤健二	
子どもの忘れ物をどうするか		
一指導の筋道に乗せて考える	高橋達郎	
子どもの忘れ物をどうするか	山田喜美恵	
人生の半分・・・	三浦和恵	
子ども・親・教師		
親も教師も子どもと共にあゆむために	阿部優子	
一年生の算数	曾根原朗	
ブラハンバラ	多田久美子	
時の動き	歴史の分岐点に立つ	高橋浩太郎
気になること		
塾さ行って初めて勉強のおもしろさが分かった	菊池 鮮	

一枚の絵と子ども

木版画「大造じいさんとがん」 浅野恵一  
 東北民教研五十周年を迎えて 私と東北民教研  
 今年は娘と一緒に 浅井時子  
 希望の灯を絶やさず 皆川正芳  
 私にとっての学びの場 金野正行  
 私の実践の原点 高橋孝知  
 民教研との出会いを経て 佐々木敦  
 私の本棚 秋田洋／中野典子／坂下泉／平山正之  
 虫の博物誌5 チョウたちの渡り大作戦 片岡健司  
 ちいさこべ5 追悼 大村榮先生 春日辰夫  
 寄稿 鬼のおりる話 皆川秀雄  
 あのころを語る(27)鈴木道太/佐々木正/宮崎典男/大村榮/菊地新  
 表紙によせて 村山盛一  
 事務局日より 菅井 仁  
 編集後記  
 表紙 村山盛一 カット 古澤英子

## 第30号目次(2002年1月)

### グラビア

いま、思うこと 学校を再生する 森 達

特集 なぜ実践記録を書くのか

#### 1 実践記録の書き方について、私はこう思う

「荒馬」に燃え「荒馬」でつながっていく子ども 鎌田克信  
 鎌田実践を読んで

①実践記録を書く意味について考える 数見隆生

②子どもの視点で捉えることの重要性 小野寺修子

③実践記録の行方 菊池 鮮

④個人的なものをどう自分に取り込んでいくか 永沢一浩

⑤惚れて、惚れて、惚れ抜いて 小野寺浩之

#### 2 私はなぜ実践記録を書くか

事実のなかに教育の可能性を探る 吉田 茂

#### 実践報告

①たんぼぼのかんさつ 大宮せい子

コメント 授業をつくるの典型がここに 千葉建夫

②朗読劇「この子たちの夏」を上演して 佐藤紘子

コメント 紘子先生の選択社会 岡崎正治

③子どもたちが育つ授業とは『ごんぎつね』 佐藤正夫

コメント 明確な働きかけが授業をつくる 高橋洋子

④「からだのあな」の授業 鎌田雅子

コメント 体の授業の出発点に位置づけられる仕事 久保 健

子ども・親・教師

なわとびと浜っ子活動 鈴木裕一

南中ソーランに取り組んで 鳴瀬淳子

秋の一日 新沼寿恵

染織に魅せられて 鈴木真木子

教師になりたかった理由 高橋由香

子どもたちのパワーをもらって 今野広子

紙づくり 坂上真美子

一枚の絵と子ども ともだちのうしろすがた 志野俊寿

往復書簡 学級懇談会が心配でたまりません 嶋田雄一

先生と保護者で子どもの声を生かせたら 酒井千洋

悩みは同じです 中島裕子

子どもと読書 のぞみ文庫と子どもたち 川端英子

時の動き 希望と勇気を語る新年を 高橋浩太郎

虫の博物誌6 北に旅するチョウたち 片岡健司

読者からのたより

ちいさこべ9 私にとっての一冊の本『教師』 春日辰夫

あのころを語る(28) 鈴木道太/佐々木正/宮崎典男/大村榮/菊地新

事務局通信『宮城民教連の過去と未来』 菅井 仁  
城民教連『冬の学習会』のあゆみ  
編集後記  
表紙 村山盛一 カット 古澤英子

## 第31号目次(2002年7月)

グラビア 放課後の子どもたち  
いま、思うこと 子どもがみえない 今野 孝  
特集1 教科書・指導書を考える  
1 国語小二「たんぼのちえ」を指導書にそって 土井裕子  
2 国語小二「たんぼのちえ」をわたしはこう教えた 中野典子  
3 算数小四「わり算」を指導書にそって 杉本 進  
4 算数小四「わり算」私はこうする 高橋 建  
特集2 新教科書を読む  
1 新しい理科教科書(東書)を読む 永澤義人  
2 「おもしろい話になんかった」  
図工・美術分科会の連中と 加藤修二  
実践記録  
1 生活科 アメンボ観察記録 菊田洋子  
2 保健 鼻のアナの学習 吉田 茂  
3 演劇 地域の民話を全校表現活動で 柴口由美子  
子ども・親・教師  
生活習慣 宮部由美子  
ばんつあんに会いに 林 由貴  
愛すべき『いじわるばあさんに』 福井愛未  
4才の精一杯さから 高橋勝保子  
往復書簡  
センター給食ではあっても  
渡辺久子好き嫌いがあると言ってきたのですが 鈴木和子  
給食に求められるものは 半澤三恵子

子どもと読書 まつお文庫のおすすめ作品 松尾福子  
一枚の絵と子ども ひとりでおどったよ 平間節子  
河北美術展入賞の遠藤惟也さんに聞く  
否定しながら新たな挑戦を

新任教師からの手紙 T先生へ 佐々木道夫  
中学校の教室日記 わたしの一週間 遠藤利美  
教育実習日誌  
触れ合える時間をもっと大切にしたい 佐藤知恵子  
わたしの本だな 我妻耕一・戸村 隆・佐藤正夫  
時の動き 慚愧、悔恨、懺悔をくりかえさないために 富樫昌良  
ちいさこべ(10) Sの死 春日辰夫  
あのころを語る(29)鈴木道太/佐々木正/宮崎典男/大村榮/菊地新  
編集後記  
表紙 村山盛一・カット 生出小・虹の丘小の子どもたち

## 第32号 目次(2003年1月)

グラビア 国語「えんぴつびな」の授業 写真・千葉建夫  
いま、思うこと 「伝えること」と「感じること」 千坂朋広  
実践報告  
1 総合学習(五年) 里山の自然一生出 千葉建夫  
2 国語(二年) みんなで読みの楽しさを共有して  
一えんぴつびなの授業 高橋洋子  
3 社会(四年) 地域の川を調べる 石田裕子  
特集1 授業・総合学習・学力  
座談会 三つの実践報告からみえてくること  
授業・総合学習・学力などを考えるために  
中森孜郎・田中武雄・春日辰夫  
特集2 新教科書を読む

1 国語・子どもたちにどんな力がつくのだろう 仙台国語サークル

2 作文・「なくなっちゃたなあ」 永澤一浩

3 社会・新聞を書けば社会科学習？ 平山正之

往復書簡① 今日の授業どうしよう 八巻 潤

悩み苦しむことから始まる教師の仕事 高橋幸子

心許せる仲間の厳しい検討こそ大切に 吉田 茂

往復書簡②

友だちとうまくいかない子に

担任はどんなことができたのでしょうか 船川雅子

彼の存在がすばらしいことを伝えてみるのも… 阿部広力

若いときはいろんなところに首をつっこんで 佐伯陽子

新連載 子どもから学ぶ喜び

おれも赤えバトン持って走りてえなあ 熊谷哲太郎

子どもと読書

まつお文庫のおすすめ作品第2弾 松尾福子

一通の手紙 T君のその後をお伝えします 齊藤由美子

子ども・親・教師

今だから語れること 酒井久美子

三つの変化で学校は 高橋愛一郎

初めての年長児担任 佐藤 優子

腑に落ちるといふこと 藤坂 雄一

小規模校からのレポート 小山美知子

学校がある土曜日の魅力 曾根原 朗

高齢者大会に行く 鹿股 輝雄

突然の電話から 志子田喜恵子

学級通信にこめる願い 小澤 登

二年生の出店 本田義幾

わたしの本だな 清岡修／制野俊弘／本田良／菅井仁

一枚の絵と子ども 花いっばいのひみつきち 島村幸子

読者の声 カマラード31号を読んで 山内公子

カマラード31号を読んで 遠藤惟也

時の動き

マスコミ報道に見る『教育基本法見直し』の危険性 富樫昌良

教育基本法

あのころを語る(30) 鈴木道太/佐々木正/宮崎典男/大村榮/菊地新

編集後記

表紙 村山盛一 カット 八木山南小の子どもたち

第33号目次(2003年7月)

いま、思うこと 絵を描く子どもと私 古澤英子

特集 子どもの育ちは今

1 座談会 今、子どもは変わってきているのか

子どもの育ちを教育の現場から考える

2 報告①子どもをまん中に、大人たちが手をつなぐこと 小森 純

報告②保健室と子どもたち 松谷三喜子

報告③保健室と子どもたち 矢内博子

報告④「障がい児」とよばれる子どもを育てている

家の人たちとかかわってきて思うこと 橋本とも

報告⑤ついに算数は暗記教科になったか 芳賀雅尋

子どもと読書

まつお文庫のおすすめ作品第3弾 松尾福子

まつお文庫のおすすめ作品を読んで 佐藤 径

実践報告1 答礼人形「ミス宮城」

76年ぶりの里帰り記(歴史の証言者を招く) 齋藤俊子

2 みんなといっしょだからおもしろい(一年生との生活) 成田郁子

3 せんせい おれ ひいてやる(音楽のあふれる教室) 皆川正芳

4 読み方基礎講座「スーホの白い馬」を企画して

(教育講座を創る) 佐藤正夫

資料A スーホの白い馬の構造と主題 高橋洋子

資料B 部分の構造 春日辰夫

資料C 第三段落指導案 高橋洋子

資料 D 板書計画 高橋洋子・小林香保子  
 資料 E 授業記録(第四場面) 小林香保子  
 資料 F 「スーホの白い馬」の授業に取り組んで 大河原静  
 往復書簡 国語の授業が生活科に  
 これでいいのでしょうか 佐々木英子  
 返信 1 疑ってみることって大切ですね 川名直子  
 返信 2 悩みながら、  
 そしてあなたの感受性を大切に 加藤 修二  
 絵と子どもたち ザリガニと過ごした一日 大宮せい子  
 わたしの本だな 白石弘重い/秋山真希子/佐々木祐一  
 子ども・親・教師 教師の不機嫌 鈴木吉雄  
 私は私のまま私らしく 須田美佳  
 遊びの王国/つるにし児童館 田川みゆき  
 父の死 鈴木宏子  
 時の動き 小泉内閣の「骨太方針」とは何か 富樫昌良  
 連載 子どもに学ぶ喜び2 小鳥闖入事件 熊谷鉄太郎  
 あのころを語る(31)鈴木道太/佐々木正/宮崎典男/大村榮/菊地新  
 編集後記  
 表紙 村山盛一 カット 古澤英子

## 第34号目次(2004年1月)

グラビア 秋の特別おはなし会 まつお文庫 千葉建夫  
 今、思うこと  
 息子の入学からみえてきたこと 清岡 修  
 特集「学校の『バカの壁』を考える  
 一部 座談会《教師》 『壁』の内側について  
 加藤修二/小野寺由美子/林和人/菅井仁/吉田茂  
 二部 座談会《母親》  
 『壁』の外側から学校を見て

林美代子/山野節子/伊藤信子/佐藤三千子  
 三部 壁を考える オレにもあったバカの壁 菊池 鮮  
 実践報告  
 国語「スイミー」の授業報告 仙台国語サークル  
 いっしょにスイミーの教材研究をして 土井裕子  
 算数 繰り上がりのある計算までの指導 芳賀雅尋  
 芳賀実践に寄せて 佐藤敬行  
 理科 教室ジャングル化大作戦  
 子どもの心くすぐる環境作り 庄子 裕  
 生きものと一緒に学ぶ庄子学級 永澤義人  
 子どもと読書 まつお文庫のおすすめ作品 第4回 松尾福子  
 往復書簡 往信  
 今、どう教師をつづけていたらよいのでしょうか 佐々木芳子  
 返信  
 子どものために教師は希望を持ちつづけたい 春日辰夫  
 子ども・親・教師 10年ぶりの小学校 佐藤 仁  
 いざ、お笑い時代劇 齋藤史江  
 ねがい 杉村江里  
 うたがすき 菊地智恵子  
 適応指導室から思う 平田千早子  
 中学校現場からの報告 遠藤利美  
 私を育てた介護 栗原まつ子  
 子どもと創る劇 井上いずみ  
 わたしの本棚 教師に薦めたい一冊の本  
 「未来誕生」のことなど 皆川秀雄  
 「食の墮落と日本人」 安齋知恵子  
 「平和・人権・環境—教育国際資料集」 高橋浩太郎  
 一枚の絵と子ども 版面に取り組みながら 佐藤淑子  
 連載 子どもに学ぶ喜び 第3回 三人のお客さん 熊谷哲太郎  
 子どもの今を考えるために20年前の子ども調査と今を比べる  
 編集部編

時の動き イラクへの自衛隊派遣に正当性はない 富樫昌良  
 子どもの権利条約15年に大村先生を懐く 田中武雄  
 あそこを語る 32 (最終回) 鈴木道太/佐々木正/宮崎典男大村榮/菊地新  
 編集後記  
 表紙 村山盛一 カット 古澤英子

## 第35号目次(2004年7月)

口絵写真 文学作品の読み「冬のこい」の授業 林 和人  
 今 思うこと わたしの出発 佐藤百合恵  
 オレにもあったバカの壁(その2) 菊池 鮮  
 特集 授業を創る  
 1、子どもたちと「冬のこい」を読む  
 ー村治の生き方にふれてほしい 千葉建夫  
 2、授業、この心地よきもの  
 ー千葉さんの「卒業授業」に思う 春日辰夫  
 3、「冬のこい」授業(ビデオ)検討会  
 加藤光三・中森孜郎・芳賀雅子・高橋洋子  
 土井祐子・春日辰夫・千葉建夫  
 いま授業の問い直しのためにー  
 ー先人の授業論と実践に学ぶ 中森孜郎  
 一枚の絵とこども  
 木版画共同制作「自然といっしょ」 真山栄子  
 連載 道德教育を考える(1) 太田直道

### 実践報告

1、国語 3年生と「モチモチの木」を読んで 小林香保子  
 「モチモチの木」の報告を読んで 斎藤章夫  
 2、生活科 「人のくらし」を考える 太田直子  
 「人のくらし」を考えるを読んで 大宮せい子  
 「草の乱」上映を前に考える

1、民衆の力というもの 横山寛勝  
 2、「民草」として生きることを選ぶ 伊野文子  
 子どもにとっての美術(1)  
 子どものために美術の使い方を考える 斎 正弘  
 連載 子どもに学ぶ喜び 第4回 マサオのひとつこと 熊谷哲太郎  
 子ども・親・教師 あぶちゃん 佐藤和子  
 この愛すべき一生 小高敏子  
 学年だよりで学年づくり 澤井文彦  
 命の大切さ 軽部康彦  
 年齢ではなく、肩書きでもなく 佐々木孝  
 治安維持法と国会請願 鹿股輝雄  
 クワの実とり 佐々木淳  
 仲間に薦めたい一冊の本 「カンボジア最前線」 熊谷富代子  
 民教研五十年のあゆみ  
 唯一の免罪符として 芳賀雅子  
 ヘッドライト・テールライト 桑原 孝  
 はみ出した生徒との出会いから 大山あけみ  
 74歳理科教育の仕事は楽しい 永澤義人  
 子どもの事実こそ学びの原点に 日食正昭  
 いとおしいもの 鈴木 正  
 編集後記  
 表紙 村山盛一 カット 古澤英子

## 第36号目次(2005年1月)

グラフィア	英語の授業 中3	写真・千葉建夫
今、思うこと	これからも授業を見てもらおう	飯田清子
特集	言語教育を考える	
	1 母国語教育と英語教育	
	特集の「まえがき」として	春日辰夫
	2 公教育、とりわけ義務教育の中での	
	外国語の教授=学習について	桑原 孝
	3 日本語文法、ひとえ文の指導案	斎藤章夫
	4 小学校における英語教育の実態と問題点	武藤 薫
	5 小学校英語教育の現状	菅野卓也
連載	オレにもあったバカの壁(その3)	菊池 鮮
実践報告		
1 国語	生活綴り方の教育実践	
	親と子のふれあいを通して(小1)	浅井時子
	浅井さんの仕事に学ぶ	菅井 仁
2 国語	小4「たかの巣取り」	
	やり直しの授業で学んだこと	佐藤正夫
	予想外の子どもの発言が授業を動かしている	千葉建夫
3 図工	小2土の中を描く 小さな子どもの大きな絵	北村浩道
	北村さんのしごと	小野寺由美子
小特集	2004 わたしのひとこと	
①今、学校(職場)・家庭・地域で	何が話題となっていますか	
②今、社会・文化・教育・子どもなどについて		
	一番気になっていることは何ですか	
③最近、心に残っている話やできごとは何ですか		
④今、思うことは何ですか		
連載	道徳教育を考える2	太田直道
連載	子どもにとっての美術	

子どものために美術の使い方を考える2	齋 正弘
授業の会通信より	カムラード♯号を読んで 鶴岡孝則
時の話題	子育て支援のいまとこれから 石田一彦
仲間にも薦めたい一冊の本	「発達保障を学ぶ」をテキストに
	学習会をしてみませんか 皆川正芳
2004 学校現場の記録	少人数指導で悩んでいます 佐藤恭子
連載	子どもに学ぶ喜び 第5回 鮎一人前を賭けた話 熊谷哲太郎
民教研五十年のあゆみ	
サークルの中で	ほんものの教育を求めて 太田貞子
	体育同志会との出会いから 鎌田克信
	編集後記
	表紙 村山盛一/ カット 古澤英子

## 第37号目次(2005年7月)

グラフィア	こども百景	写真 関令子・小野寺勝徳
今、思うこと	わたしの仕事	小野寺由美子
	憲法は私たちの権利宣言	池田香代子
実践報告		
1 国語小1	5人の一年生と	
	「おおきなかぶ」を読む	櫻井美美子
	実践報告を読んで	高橋洋子
2 社会小6	わたしたちのくらしと	
	憲法とのかかわりを求めて	阿部真弓
	共に授業を創った日々	斎藤俊子
3 英語小6	ローマ字の授業	
	日本語の音のつくりを学習し、英語の発音につなげる	桑原典子
	実践報告を読んで	菅井 仁

子どもと絵	「教室から見える風景」を描く	千葉建夫
連載	道徳教育を考える 3	太田直道
特集	教師、今、自分を語る	
	授業こそ大事にしたい	関 令子
	米作りを続けてきて	小野寺勝徳
	子どもたちの視点にたつ	佐久間泰子
	マニュアル通りでなくたっていい	石垣就子
時の動き	子どもの権利条約の精神を生かそう	石田一彦
新連載	私の「シネアルバム」1	
	映画館は、得がたいオアシス	三浦恭夫
	「教科書」終焉の記	春日辰夫
親・教師・子ども	一年生の授業が面白い	佐藤澄子
	小学校の英語	渡辺 淳
	教室の窓から	佐藤恵美子
	親から見た中学校の校則考	加藤昌紀
	賢治の学校	福島和明
連載	子どもに学ぶ喜び 第6回	早苗ちゃんの詩 熊谷哲太郎
	世界原爆詩集(角川文庫)	
	編集後記	
	表紙 村山盛一	カット 古澤英子

### 第38号目次(2006年1月)

グラビア	仲間とともに	写真・菅井 仁
特集	わたしの出会った子ども	
	出会い	佐藤郁子
	教師開眼の日	芳賀雅子
	人間の可能性を	雫石壽子
	教師の鎧を溶かしてくれた	小畑恒子
	実にステキなガキ大将	富樫昌良
	毎日がドラマ	渡部やす子

Aのひとつ	言	齊田久典
N子たちとナナ		土岐満子
「夜行列車」からの卒業		森 達
私の原点		川名直子
あの頃	耕英分校の子どもたち	鈴木睦彦
	今も抜けない棘	江島隆二
	私への宿題	菅井 仁

### 実践報告 1

算数(小2)	同じ大きさのものをたくさん並べて教えれば、	
	外したり切ったりできないものの長さも比べられる	林 和人
	長さの指導を読んで	阿部誠喜

### 実践報告 2

友情人形脚本づくりの会	報告	堀籠智加枝
子どもと絵会った『一枚の絵』		加藤修二
連載	道徳教育を考える 4	太田直道

### 小特集

#### 私の失敗の授業

- 1 自分で描いたんじゃないから… 菅野有紀子
- 2 四角形の面積の公式の授業 鈴木 正
- 3 失敗の授業以前の失敗 平山正之
- 4 図工で大切にすることって? 成田郁子
- 5 ドンキホーテだった 制野俊弘
- 5 物語の読み取りの実践から 千葉政典

### 連載 私の「シネアルバム」2

メロドラマに戦争の影	～戦後 60 年に映画を思う	三浦恭夫
近況報告	20 才になる教え子とともに	日食正昭
連載	子どもに学ぶ喜び 7 回(最終回)	

	最後の授業「ソーラン節」	熊谷哲太郎
思い出	大失敗? ……があった授業	岩澤一郎
時の動き	少子化とおとなの意識の変化	石田一彦
読者の声		

「おおきなかぶ」の報告を読んで 飯田清子  
「教師、今、自分を語る」を読んで 伊藤のぞみ

こども・親・教師

子どもたちの底力 庄司春美  
 私と旅 鈴木 圭  
 今の先にあるもの 佐藤貴宏  
 うた・リズムとの運命的な出会い 児玉大輔  
 S先生に会って 佐藤 浩  
 私の本棚 及川武行／平間節子／紺野勇  
 鈴木道太の二つの文  
 ～私たちの今を考えるために～ かすがたつお  
 編集後記  
 表紙 遠藤惟也／カット 古澤英子

### 第39号目次(2006年7月)

グラビア 東北民教研中間集会 菅井 仁  
 今、思うこと 教師はみんな子ども世界の探検家である 菊池 鮮  
 特集 教育基本法は生きている  
 第1部 戦後教育の思い出  
 教師として ウソつき教師の戦後史 吉田六太郎  
 教育基本法をめぐる思いさまざまに 芳賀雅子  
 新憲法と教育基本法につつまれて 高橋浩太郎  
 生徒として 前と後と 荘司武彦  
 小学校高学年でした 本郷智恵子  
 第二部 いまもここに  
 教育基本法10条は民主教育の守護神 中森孜郎  
 教育基本法との出会いから 須藤道子

実践報告

1、総合 もっと知りたい名取川調査隊 小野寺由美子  
 2、作文 一人の思いをみんなで共有するために 佐藤秀寿

日記指導から 「カンボジア」と言われた子 高橋三代  
 3、体育 「モンスターくん」あらわる 江島隆二  
 4、木版画共同制作 今を自然の輝きと共に 真山栄子  
 「学校」を考えるために  
 恐らく、もっとも困難であろうこと〔上〕 皆川秀雄  
 5 学校日誌に現れた15年戦争・天皇制  
 ～国民学校 の成立 佐藤昭彦  
 連載 私の「シネアルバム」4  
 愛おしく、懐かしい「ペろんこ映画」 三浦恭夫  
 連載 道徳教育を考える5 太田直道  
 時の動き 国と郷土を愛するには  
 ～教育基本法に託す国民の心 石田一彦  
 遠藤惟也さんを偲ぶ  
 白川小学校は一つの頂点だった 安藤正一  
 惟也せんせいにほめてもらえるように 高橋律子  
 ぼくの新任研 惟也先生との出会い 高橋研一  
 東北民教研中間集会報告 感想記 平山正之  
 記念講演(藤田英典さん) レジュメより  
 日本の教育に、今、求められているものは何か  
 第55回東北民教研作業並集会(ダイジェスト版)  
 編集後記  
 表紙 遠藤惟也 カット 古澤英子

### 第40号目次(2006年7月)

グラビア 第55回東北民教研「作業並集会」 遠藤利美  
 今、思うこと カマラード編集委員会はわたしの道場 菅井 仁  
 実践報告1

国語(小2)『スイミー』の授業

	文と絵を手がかりに読む 佐藤正夫
	「文を読むこと」と「絵を読むこと」 千葉建夫
実践報告 2	
	社会科（小6）「地租改正」をどう教えたか 熊谷鉄治
	教える側にも新たな喜び
実践報告 3	子どもたちにとっての魅力「本物の持つ力」 熊谷富代子
	わたしの学級通信 関 令子
	関さんの便りに考える 春日辰夫
	チュールリップってふしぎだな 大宮学級
	わたしの出会った忘れられない子
	出逢いから学ぶこと 渡部やす子
	T男とモチモチの木 小林香保子
	教育条理を覆すことはできない 森 達
連載	私のシネマアルバムから 4
	子どもの目がとらえている大人の世界 三浦恭夫
『学校』を考えるために	
	恐らく、もっとも困難であろうこと（下） 皆川秀雄
	現職の教師たちへ 地域の中の教師として 熊谷哲太郎
私の出会った先生	
	たかが教師・されど教師 千坂朋広
	今の自分を作ってくれた先生 竹内一馬
	連載 道徳教育を考える 6 太田直道
カマラードとわたし	
	カマラードは何処へ 小野寺修子
	おどろきと学びの本 土岐満子
	何よりの宝でした 澤井文彦
	ちょっと書いて 関 令子
	熱い思いが伝わる 阿部真弓
	素敵な出逢いが 八巻シウ
	大きな励みに 高橋幸子
	「私の学びの原点」を宝物に 本田 良
	教育荒廃の中にあっても 皆川秀雄

	たいまつのような存在 齋藤俊子
	「第4次カマラード」、思い出すことなど（上） 春日辰夫
	東北民教連アピール
	教育基本法改悪を阻止し、教育基本法を守り生かす実践を
	編集後記
	表紙 遠藤惟也／カット 古澤英子

## 第41号 目次(2006年7月)

	グラビア ほほえみのとき
	いま、思うこと 教師として生きる 吉田 茂
実践報告	
1 国語	自主教材はやめられない
	～「テレビと馬」(住井すゑ)を通し 中鉢和典
	コメント ●●●● ● 渡部進
2 生活科	ぼく・わたしが生まれる、ぼく・私が大きくなる 大宮せい子
	コメント：教室の子どもたちの声が聞こえてきそう 小野寺由美子
3 社会	川崎まるかじり
	川崎いいところあるある探検隊の一年の取り組み 石田裕子
	コメント ●●●● 平山正之
4 図工	紙版画共同制作 ザリガニと暮らす 関 令子
	コメント 「ザリガニと自分」の関わりから学ぶ 小野寺修子
5 体育	体育の授業から見える生活 制野俊弘
	コメント 制野実践を読んで 江島隆二
6 総合	いのちを見つめて
	～いのち・人間のからだの学習 千葉保夫
7 算数	1年生の算数って、何を教えればいいのか
	～くり上がり・くり下がりを見通した入門期の数指導 林 和人
特集	子ども賛歌
	まえがきとして 春日辰夫
	『ビリーブ』の思い出 高橋律子

	作文のなかにおどる子どもたち	小澤 登
	これまでかかわった子どもたちの中から	佐藤紘子
	耕英分校で出会った子どもたち	石川 敦
	二人の女の子	伊藤 稔
	ゆきと君と	芳賀秀子
	子どもの想像力	杉田 繁
	私を励ましてくれる子どもたち	佐藤 康
	さとしくん	中野典子
	連載 道徳教育 を考える7	太田直道
追悼	宮崎典男先生を偲んで 先生との思い出	斎藤章夫
	鈴木市郎先生を偲んで 水脈が地下を流れて	皆川秀雄
佐藤弘友先生を偲んで	寒風沢島での実践を振り返って	寺川紀子
	教師生活 思い出おこすこと	
	あこのころ	高橋浩太郎
	子どもたちと先生方とともに作った授業	今野喜代子
	教師が育つということ	佐々木光一
	振り返ると	鹿股明子
		芳賀恵美子
		斎藤敬一
	カメラード終刊に思う	中森孜郎
	学生と「学び」について考える	千葉建夫
連載	私のシネアルバムから 5	
	面白いものは面白い、いいものはいい	
	無用な映画は、娯楽か芸術か	三浦恭夫
	「第4次カメラード」、思い出すことなど(下)	春日辰夫
		編集後記
	表紙 遠藤惟也/ カット	古澤英子

# 第4次 カマラード・総もくじ

第1号(1984・1)～第41号(2007・8)

宮城県民間教育研究団体連絡協議会発行

連絡先 菅井 仁 仙台市泉区鶴が丘4-18-4  
TEL/FAX 022-373-6175